

校長あいさつ

「学び合い 育ち合い 自立と社会参加の力を身につける学校」

京都府立南山城支援学校のホームページをご覧くださいありがとうございます。  
今年度より校長に就任しました 畔柳 順一です。どうぞよろしく願いいたします。

本校は昭和 56 年に開校し、今年で 43 年目を迎えます。地域の発展とともに児童生徒数が増加し、平成 22 年に八幡支援学校、23 年に宇治支援学校、令和 4 年には井手やまぶき支援学校との分離を行ってきました。今年は小学部 38 名 中学部 25 名 高等部 46 名、全児童生徒 109 名と開校当初に近い児童生徒数でスタートします。

さて、本校の学校教育目標には「合い」という言葉が含まれています。仲間の存在に気づき、仲間と一緒に遊び学び、そして仲間と共に成長していく、そんな学校を目指していきます。109 名という学校規模を生かし、小学部、中学部、高等部が関わりを持てる、そんな取り組みも取り入れていきたいと考えています。

昨年度は、地域で活動されている、アート・書道・助産師・動物愛護等様々な分野の方と連携させていただき学習を進めることができました。児童生徒にとっては楽しくもあり緊張感のある学びだったようです。学習を学校という場だけでなく、地域や地域の様々な方との関わりの中で進めることで、「自立と社会参加の力」もより効果的に高まるのではないかと考えています。今後も様々な方のご協力をいただき、学びを進めていきたいと考えています。

令和 6 年度より「京都府南部視覚・聴覚支援センター」を校内に新設し、盲・聾学校との協働により府内視覚・聴覚障害児への一体的支援体制の構築を推進してまいります。また、南山城支援学校が地域の特別支援教育の中核となるよう教職員一同専門性を高めていきたいと思っております。



保護者の皆様、地域の皆様には引き続き、本校への御理解と御協力をいただきますようお願いいたします。